A　表　現

ア　歌唱の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。

(ｲ) 次の㋐及び㋑について理解すること。

㋐　曲名や曲想と音楽の構造との関わり

㋑　曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり

(ｳ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。

㋐　歌詞やリズム，音の高さ等を意識して歌う技能

㋑　呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能

㋒　独唱と，斉唱及び簡単な輪唱などをする技能

イ　器楽の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲想にふさわしい表現を工夫し，器楽表現に対する思いや意図をもつこと。

(ｲ) 次の㋐及び㋑について理解すること。

㋐　曲想と音楽の構造との関わり

㋑　多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり

(ｳ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。

㋐　簡単な楽譜を見てリズムや速度，音色などを意識して，演奏する技能

㋑　打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して，音色や響きに気を付けて演奏する技能

㋒　友達の楽器の音や伴奏を聴いて，リズムや速度を合わせて演奏する技能

ウ　音楽づくりの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の㋐及び㋑をできるようにすること。

㋐　即興的に表現することを通して，音楽づくりの発想を得ること。

㋑　音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。

(ｲ) 次の㋐及び㋑について，それらが生み出す面白さなどと関わらせて理解すること。

㋐　いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴

㋑　リズム・パターンや短い旋律のつなぎ方や重ね方の特徴

(ｳ) 発想を生かした表現，思いや意図に合った表現をするために必要な次の㋐及び㋑の技能を身に付けること。

㋐　設定した条件に基づいて，即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

㋑　音楽の仕組みを生かして，音楽をつくる技能

エ　身体表現の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，リズムの特徴や曲想を感じ取り，体を動かすことについて思いや意図をもつこと。

(ｲ) 次の㋐及び㋑の関わりについて理解すること。

㋐　曲想と音楽の構造との関わり

㋑　曲名や歌詞と体の動きとの関わり

(ｳ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。

㋐　示範を見て表現したり，曲の速度やリズム，曲想に合わせて表現したりする技能

㋑　音や音楽を聴いて，様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能

㋒　友達と動きを相談して，合わせて表現する技能

B　鑑　賞

ア　鑑賞の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら，曲や演奏のよさなどを見いだし，曲全体を味わって聴くこと。